

北 区 会

北区会親睦会グランドゴルフ会と昼食会

北区会 国際8期 佐伯 義昭

H21年10月29日(木)しあわせの村球技場で秋晴れの下42名が参加してグランドゴルフ大会をとり行いました。9:30開始でわ本部の加藤理事長の挨拶で日頃のボランティア活動の謝辞と本日の競技を楽しんでくださいとの言葉がありました。9:50プレイ開始で10チームが10ホールで2ラウンドプレイしました。

初めての方もおられ「思うようにいかないわ」と嘆かれる女性、「真直ぐ行ったのにホールを突き抜けて行ってしまった。強く打ちすぎた。」と嘆く男性。また別のホールではホールインワンがあったのか拍手喝さいがあり、Vサインをする人など悲喜こもごもの交流があり2時間が「アッ!」と言う間に過ぎてしまいました。昼食会は「アミー



ゴ」で表彰式などを行いました。結果は西川寿夫さんが50打で優勝、2位、3位、4位は女性、また飛賞に多くの女性が入られるなど女性陣の活躍が目立ち思わぬ賞品に喜んでいました。交流会も進み土井会長からは上半期北区ボランティア活動状況概要報告があり、「神港園入浴後の介護活動」「花山梅林会」「へ音記号」「KSC広陵同窓会IN-NETクラブ」「にこにこハウス」「北五葉小、通学見守り」「唐櫃ゴミ拾い」等々。懇親会も和気藹藹の内に終了しました。最後になりましたが実行委員の方々、ブロック連絡委員の方々、当日設営など手伝ってくださった方々本当にありがとうございました。

一歩前へ

北区 生環7期 榊原 惇一

現在、私達が住む社会では、個人主義、利己主義などの価値観に重きを置く人々が多いように思われる。世はまさに地球環境問題への対応が叫ばれ、地球の危機的状況を加速させないために、清掃という些細な活動にも意義があると思っている。私達の住む北区は、加古川や武庫川の上流域で、下流域に対して川を汚さないようにする責務がある。川を汚せば海が汚れ、海の酸素の欠乏を招き、魚がいない海となるだろう。これは自然の摂理、循環の鎖を断ち切ることになる。

路上に捨てられたゴミは側溝から川へと流れる。従って川に流れる前にゴミを拾い上げることが大切である。ゴミは風雨によって散乱し移動する。

路上には、タバコの吸殻、買い食いの容器、買い物のポリ袋などが、なんと多いことか。これらは、石油化学製品で腐蝕しにくく、自

然を汚す元凶である。日本人には潜在的に“水に流すのを由”とする意識があるだろうが、ゴミを流しては駄目だ。

何時もゴミ拾いをして何の役に立つのか。無駄なことではないか。自分が捨てていないゴミを何故私が拾わなければならないのかと言う人もいる。ゴミ拾いをしていると、他人に自宅前の路上のゴミを拾われているのが嫌だという人もいる。一日の内、僅か5 10分の時間があれば、向こう三軒両隣の路上の清掃はできるし、時間と心に余裕があれば、点から線へ、線から面へと活動の場を広げて行けば、自らの街はキレイになり、人の心も通う街となり、有り難うの言葉も交わされるようになる。

私達シルバー世代が、先頭を切って、環境に優しい、美しい潤いのある街作りに参加しましょう。行政に頼ることも必要ですが、住民の自主的な活動が街づくりの基礎であると思います。

さあ、思い切って、一歩前に踏み出そう!!